

ともだち



30th Anniversary

たかさき し こく さい こうりゅうきょうかい かいほう だい ごう しゅうねん き ねんごう
高崎市国際交流協会会報第96号(30周年記念号)

2021.2

かいちょう あいさつ 会長挨拶

高崎市国際交流協会
こ だま しゅうぞう
会 長 児玉 正藏



高崎市国際交流協会は平成2年(1990年)に設立され、令和2年(2020年)に30周年を迎えることができました。これもひとえに皆さまのご支援とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

高崎市在住の外国人は過去30年で約5倍になり、当協会

も姉妹・友好都市など海外との交流や市民レベルでの国際交流はもとより、広く異文化理解、在住外国人支援を進めるなど、地域における多文化共生の推進に向けて活動してまいりました。

私たちの生活様式を変えた新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりにより、多くの外国人住民を取り巻く環境も厳しいものになっております。当協会としてもより一層、適切な情報提供を行ってまいります。またオンラインでの日本語教室など、在住外国人支援のための新しい取り組みも始めました。

今後も時代に沿った活動の充実を図り、地域の国際化と多文化共生社会の実現に向けて努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

しゅく じ 祝 辞

高崎市長
とみおか けん じ
富岡 賢治



高崎市国際交流協会の設立30周年を心よりお祝い申し上げます。

現在、本市には約70の国と地域からの5千人を超える外国籍市民が生活しており、またスポーツ・文化・経済・教育な

ど多くの分野で外国とのさまざまな交流が深まっております。このような状況を踏まえ、本市はさらにグローバルな視点に立ったまちづくりを進めているところです。

新型コロナウイルス感染症の流行により私たちの日常生活が大きく変化する中、在住外国人も安心して暮らせるよう、多文化共生に向けた取り組みが一層重要となっております。貴協会には、設立以来さまざまな状況下で本市の国際化の推進にご尽力いただき、感謝を申し上げますとともに、今後も多文化共生社会の実現に向け、更なる活動の充実をご期待申し上げます。

結びに高崎市国際協会の益々のご発展と、皆さまのご健勝をご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

しゅく じ 祝 辞

関東学院大学・教授
群馬県立女子大学・地域日本語教育運営委員

いとう たけと
伊藤 健人



設立30周年おめでとうございます。国際交流・国際理解を目的とした幅広い活動の中でも特徴的なのは日本語支援の活動の充実ぶりだと思われま

す。多文化共生社会に向け、2002年から本格化したボランティアによる日本語教室と体系的な養成・研修制度は、他地

域の国際交流協会にも例を見ないものでしょう。新規の日本語支援者のための養成講座では、知識や技術の修得だけでなく、実際の教室活動の見学が含まれており、実践的な養成制度として効果的です。また、日本語支援者として活動している方向けのステップアップ研修も特徴的と言えます。各教室の研修担当者が企画・運営するこの研修では、しっかりとニーズ調査がなされており、講義のお話を頂くたびに、そのテーマ、要望に感心させられます。さらに、2011年から始まった子ども日本語学習支援ボランティア養成講座と翌年からの派遣事業、そして、2020年のオンライン日本語教室も時代を先取りした活動と言えます。

これらの活動は、数多くのボランティアの方々に支えられています。今後も、日本語支援者として、ボランティアだからできること、ボランティアにしかできないことを考え、持続可能な活動を続けていって下さい。

ねん 30年のあゆみ

しまい ゆうこう と して いけい
姉妹・友好都市提携

こくさい こうりゅうきょうかいせつりつ

国際交流協会設立まで

しまい ゆうこう と し こうりゅう

～姉妹・友好都市との交流～

- 1981 バトルクリーク市、サントアンドレ市
- 1987 承德市
- 1990 プルゼニ市
- 2006 モンテンルパ市

- 1981 高崎市国際姉妹都市交流委員会設置
- 1984 第1回バトルクリーク市交換学生事業開始(以降毎年)
- 1985 高崎市国際交流委員会に改名
- 1989 高崎市国際交流協会設立協議
バトルクリーク市へ日本語教師派遣('93まで)



せいしょうねん こくさいり かいかつどう めざ 青少年の国際理解活動が目指すもの

なかじま まさとし

中島 雅利さん(左の写真:子ども達の活動を見守る中島さん)

私たちは、ジュニアインターナショナルクラブのメンバーが将来的に国際交流・国際貢献等に関わる人材に育つことを願ってきました。そこで、外国人との交流、JICA海外協力隊の講演、ユニセフ・大使館訪問や国・地域の歴史学習、科学未来館・JAXA等の最先端の科学施設の見学など多様な事業を実施してきました。世界を知り、日本も理解するためです。これら事業が彼らの将来にどう影響を与えるか分かりませんが、少しでも可能性を信じ今後も活動を続けていきたいと思っています。



にほん ごきょうしつ

日本語教室のあゆみ

いいおか ひろみち

飯岡 弘道さん(左の写真:日本語を教える飯岡さん)

日本語教室は協会発足後2年目に始まりました。以来、'08年に部会のひとつになり、5地区9教室を運営しています。過去15年間を平均的な数字で見ますと、学習者は約30か国から310人/年;支援者は80人/年で、開始以来300人の方が関わってきました。この間、「災害、病気など非常時」の言葉、やさしい日本語の導入、外国籍児童のための「子ども日本語学習支援グループ」の発足は時宜を得たものでした。今、突然のコロナ禍で、「対面支援」がご破算になりました。「オンライン方式」を試行中ですが、その結果を踏まえ、支援の「新常态」を模索して、変化に適應していくべき30周年となりました。



かいほう

会報について

わたぬき のりこ

綿貫 典子さん(右の写真中央奥:会報を作成する綿貫さん)

英文ニュースレターの編集を手伝っていた頃は、原稿はワープロ、イラストはイラスト集からコピーして貼り付けるというアナログな方法でした。その後、「Touching the world」と、会員向けの情報誌としての「メンバーズサロン」の両方を発行していましたが、2012年より一本化し「ともだち」に名称を変え今に至ります。PC編集に移行してからは作業も楽になりました。現在はオンラインで編集会議を行なっています。

1990-2000

ちいき こくさい か し むんしゅたい こくさい こうりゅう

地域の国際化～市民主体の国際交流～

- 1990 **高崎市国際交流協会設立**
会報「Touching the World」発刊
第1回姉妹・友好都市サミット開催
外国語講座開始('12まで)
- 1991 **第1回国際交流の集い開催(以降毎年)**
海外料理教室開始('12まで)
留学生バスハイク開催('97まで)
外国人のためのリビングガイド発行('00改訂)
- 1992 **外国人のための日本語講座開始**
外国人生活相談窓口設置(市)
ニューイヤーズパーティ、バーベキュー、外国人との交流懇談会(毎月第3日曜日)が次々と始まる。'97以降は事業部会の企画となり、多彩な交流事業が行われるようになる
- 1993 英文ニュースレター発刊('19まで)
- 1994 中国語・ポルトガル語ニュースレター発刊('19まで)
外国人のための日本文化体験講座開始('97まで)
国際交流スポーツ大会開催
自治大臣表彰「先進的な地域国際化推進のまち」(市)
- 1995 国際交流バスツアー開始('01まで)
第2回姉妹・友好都市サミット開催
- 1996 **部会組織再編**
前:アメリカ部会、ブラジル部会、中国部会、チェコ部会
後:都市友好部会、事業部会、青少年育成部会、広報宣伝部会
サントアンドレ市からサッカーコーチ招聘
- 1997 会報「メンバーズサロン」発刊
サントアンドレ市へ日本語教師派遣('99まで)
オーストラリアンディ開催(青少年育成部会第一弾)
- 1998 新市庁舎・国際交流コーナーへ事務局移転
- 2000 **ジュニアインターナショナルクラブ発足**
第3回姉妹・友好都市サミット、高崎2000年環境会議開催

2001-2010

こくさいこうりゅう さき
国際交流からその先へ

- 2001 第1回日本語ボランティア養成講座開催
チェコ音楽の夕べ開催(都市友好部会本格始動)
- 2002 **ボランティアによる日本語教室(中央公民館)開始**
世界の〇〇シリーズ開始(以降毎年)
ホームページ開設('09-'14リニューアル)
- 2003 日本語ボランティアネットワーク高崎会議開催
- 2004 青少年多文化学習後見事業実施
国際交流コーナーに外国図書、パソコン、メッセージ
ボード設置('11まで)
15周年記念誌発行
- 2005 ホストファミリー登録制度開始
会員同士の特典制度開始('11まで)
日本語教室(鼻高公民館・託児付き)2年間開設
15周年記念シンポジウム・パーティ開催
- 2006 **倉渕村・箕郷町・群馬町・新町・榛名町と合併(市)**
群馬町国際交流協会・新町国際交流協会と統合
日本語教室(群馬福祉会館)継続開設
キッズクラブ継続実施('10まで)
第4回姉妹・友好都市サミット、地球市民ウィーク
2006開催
- 2007 日本語教室(新町公民館)継続開設。現在は新町
文化ホールで実施
国際交流活動周知支援事業('11まで)
- 2008 **コミュニケーション支援部会新設**
多文化共生研究会報告書作成
外国人交流会・勉強会開始('12まで)
ダニエル・カール講演会開催
- 2009 **吉井町と合併(市)**
母語支援者グループ始動
ラジオ高崎での情報発信開始
多文化サロン開始(以降毎年)
外国人のための法律相談開始(県協会と共催、以
降毎年)
- 2010 **規約改正 目的に「多文化共生」追加**
20周年記念パーティ開催・会報記念号発行
語学ボランティア養成講座開始



たかさき ぐんま しんまち きょうかい とうごう
高崎・群馬・新町の協会が統合して

こやの ゆくお
小谷野 征男さん(左の写真:日本語を教える小谷野さん)

群馬町当時協会で日本語教室を立ち上げる時、担当者の勉強会をして、日本語教室の案内を町内のスーパー、派出所、学校、各種集会所にチラシを配布したことが昨日のこの様に浮かんできます。高崎市に統合後、私は事業部会、日本語教室(群馬)に属し部会内や日本語教室、日本語ステップアップ研修等で多くの友人や仲間と出会うことができました。今後も多くの外国人が来日され交流も活性化されるでしょう。40周年に向けて期待しています。

2011-2020

たぶんかきょうせい
多文化共生へ

- 2011 第1回子ども日本語学習支援ボランティア養成講座開催
- 2012 **子ども日本語学習支援ボランティア派遣事業開始**
日本語教室(中居公民館)開設
多文化講師登録・活用事業開始
会報『ともだち』発刊
多言語パンフレット作成('15までに9言語)
たかさき地球市民環境会議2012開催
- 2013 フェイスブック開設
- 2014 国際交流の集いをピエント高崎で開催
- 2016 第1回国際親子交流会開催(以降毎年)
- 2017 Cool Takasaki発信事業開始(以降毎年)
国際交流の集い&インターナショナルカーニバル
(JOMO JET)同時開催
日本語教室(吉井西コミュニティセンター)開設
- 2018 日タイ青少年交流プログラム支援
デバドアルファ人形劇団公演・交流会開催
- 2020 新型コロナウイルス感染症流行により各種事業中止
日本語教室・外国語講座(オンライン)試行

こくさいこうりゅう つど
国際交流の集いについて

すずき ひろき
鈴木 宏輝さん(右上の写真:国際交流の集いであいさつする鈴木さん)

私が初めて参加したのは22年前、姉妹都市公園での開催でした。立派なテントも仕切りもなく、飾り付けも全て自分たちで。あの空間で良く出来たものだと、とても懐かしく感じます。その後会場は庁舎前広場、ハローフォーラム、もてなし広場、そして現在のピエント高崎へと移る中で、内容も変化を遂げています。1枚100円のチップで飲食できた事、リユース食器を使った事、姉妹友好都市が一堂に集まった事もありました。回を重ねても試行錯誤の連続でしたが、実はそれが次の原動力にもなっていたのです。実行委員長として幾度となく関わらせて頂き、感謝とともに素晴らしい思い出となっています。



協会員主体の活動が光る！部会の思い出ベスト3

～ボランティア主体で企画・運営した30年間の協会事業をランキングで紹介～

としゆうこうぶかい 都市友好部会

他国への理解や友好を促進するため、海外文化紹介をテーマにしたイベントを企画・実施しているグループです。



世界の文化紹介シリーズ



「世界」と掲げて参加費無料の「エンターテイメント」を企画。立派なチラシや、充実した内容であったという間に定員に。会場手配から舞台構成、タイムテーブルを作ったりと、みんな素人とは思えないよねとよく笑いながら話をします。知り合えた団体も多く、良い機会に恵まれました。これを機に世界の「食べ歩き」「スイーツ」「粉料理」などを企画し、今では部会の柱のイベントとなっています。



国際交流の集い



ハロハロはフィリピン版の「かき氷」。その年は暑さで長い行列が途絶えず、ひと時も休む間もなく、1時間で完売！戦場のような様子は、部会の語り草です。サリーなどの民族衣装が着られるのも集いならではの良い思い出です。



多文化サロン



2009年に第1回を開催してから全26回、26人の外国人ゲストを招き、22カ国の文化紹介イベントを企画。打合せからスタッフと打ち解け、これを機に部会メンバーになってくれたゲストも数名おり、大切な仲間と出会えるきっかけとなりました。

じぎょうぶかい 事業部会

在住外国人と市民との相互理解を促進するための交流会やイベントを企画・実施しているグループです。



NZバーベキュー



ニュージーランドの先住民・マオリの伝統料理「ハンギ」を作ったインターナショナルバーベキュー(2005年)。ハンギは、地面に穴を掘って、焼けた石を敷き、葉っぱに包んだ肉や野菜を並べ、布と土を被せて蒸し焼きにする料理です。ニュージーランド出身者と参加者全員が力をあわせて大成功でした。



国際親子交流会



子育て中の国際家族が増えていることから企画した国際親子交流会。2016年から年2回のペースで行っています。国際親子運動会(2018年)は、玉入れやパン食い競争、親子競技など、プログラムを考え、道具は手作りしました。当日の運営はチームワークの良さが光りました。子どもも大人も盛り上がりました。



国際交流バスツアー for Oizumi



南米出身者が多く住む大泉町を訪ねた国際交流バスツアー(2014年)。サンバ体験、ブラジルで人気のミナスチーズ工場や水耕野菜工場の見学、ブラジル直輸入の食料品や雑貨をあつかうスーパーを訪問しました。ランチはもちろん食べ放題のシュラスコでした。

1 アジア学院訪問



政府等の企画でなく、寄付金により途上国の若者へ農業技術の指導を行っている人たちの存在を知れたことは子どもたちにとって貴重な体験でした。化学肥料や便利な道具を使わない農作物の育て方を学ぶ専門学校は素晴らしいと思いました。

存在を知れたことは子どもたちにとって貴重な体験でした。化学肥料や便利な道具を使わない農作物の育て方を学ぶ専門学校は素晴らしいと思いました。

2 JAXA宇宙開発センター

学校行事の中で、遠足や旅行で行きにくい所、家庭でも旅行先として容易に行かない場所にJICで行くことができたのは良かったです。JAXAでは司令塔から宇宙と通信しているとところを見学したりするなど、日本の宇宙開発の実態を体験的に理解でき非常に感動的でした。



3 日本文化の日 ～浴衣を着てみよう～



外国で日本文化を紹介できるようにするため「ひとりで浴衣が着られるようになろう」というテーマで開催。女の子の浴衣姿が可愛いのはもちろんですが、男子の和服姿の格好よかったことがとても印象的でした。

こうほうせんでんぶかい 広報宣伝部会

イベント案内や協会事業について情報発信をするため、会報を作成しているグループです。紙面を通した会員同士の交流も意識しながら、企画・編集・校正作業をしています。

1 国際交流の集い



ハロウィンの雰囲気アメリカのお菓子「ライスクリスピー」を販売した事が印象深いです。前日に公民館で調理をした際、部屋中がマシュマロとバターの甘い香りに包まれました。今でもハロウィンの季節になると香りまで思い出します。また、最近ではチャリティバザー。下準備から販売まで文化祭みたいで和気あいあいでしたし、お客さんに喜ばれて嬉しい1日でした。

調理をした際、部屋中がマシュマロとバターの甘い香りに包まれました。今でもハロウィンの季節になると香りまで思い出します。また、最近ではチャリティバザー。下準備から販売まで文化祭みたいで和気あいあいでしたし、お客さんに喜ばれて嬉しい1日でした。

2 マニュアルを作ったこと

2012年、それまでの『Touching the world』と『メンバーズサロン』を統合し『ともだち』を発行する際に編集マニュアルを作成しました。これにより構成・書式が統一され、私たちのモットーである「読みやすい・分かりやすい・親しみやすい」広報紙を作ることに一助になりました。



3 自分たちで記事を書いたこと



外国人向けの情報誌『Takasaki and You』に日本の行事や風習など分かりやすく説明する記事をメンバーが交代で書きました。「恵方巻き」「花見」「七夕」「虫の音」などについて書いていましたが、普段当たり前だと思っていたことを文章にするのは難しく頭を使ったのを覚えています。

しえんぶかい コミュニケーション支援部会

日本語を母語としない人たちがスムーズな社会生活を送れるよう、日本語学習のお手伝いや生活情報の提供を行う日本語教室を開いています。

1 日本語教室を通じて得た“心の交流”

同じ国籍の学習者同士が意気投合し、通院や免許の取得などお互いにアドバイスしながら生活圏を広げられている様子や、上級者が初心者にわかりやすく解説してくれている様子など外国人同士の交流もそうですが、教室が終わってからも学習者と支援者の関係を超えて心のつながりが持てるのはとても嬉しく、やりがいを感じています。



2 子ども日本語学習支援創設



外国にルーツのある子どもに対する日本語教育支援の重要性を認識し、子どもの日本語学習支援グループを創設できたことは思い出深い出来事です。

3 国際交流の集い

「浴衣着付け体験」では、大勢の外国人が参加。着用した着物が気に入り、なかなか返却してくれない人や、どこで買えるのかなど聞かれ、楽しく交流ができたのは良い思い出です。



あなたにとって「高崎市国際交流協会」とは？

～30年間でつながった思い～



1

International Relations means to us Friendship and Connections. Ms. Iso-da and I participated in an International Sister City Exchange Program together awhile back and we have remained close friends ever since. Without the relationship between our two cities, we might never have had opportunity to meet each other and become close friends!

交換留学での出会いは、私たちが夫婦にしてくれました。また、国内外の大切な友人やアメフトに出会えたことは大きな財産になってます。



2



3

育った文化や取り巻く環境が、その人の考え方を作っていく事を学びました。学校や仕事で人間関係を構築する時に、先ず相手を知るよう心掛けています。



4

娘が姉妹都市バトルクリークとの相互ホームステイ事業に参加以来、そのご家族と十年以上“一生の友”で付き合い、他の事業でも多くの高崎の友を得た。



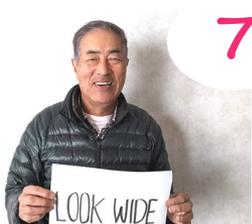
5

小さい頃から父に連れられ色々な行事に参加しました。JICにも参加し、言葉の垣根なく、誰とでも仲良くなれる性格は、仕事にも活かしています。



6

25年前、留学生として来日した時から多くの方に助けて頂きました。今は少しでも恩返しがしたく、私も誰かの為に何かを出来たらと思い、ボランティアをしています。



7

退職し高崎に移住、スタッフとして参加。たくさんの市民や在住外国人達と仲間になった。多くの企画を立ち上げ行動し世界が急に大きくなった。



8

高崎の文化学習を通じて地元で愛着がわいたり、交流を通じ各々の国への愛着を感じたりしました。今は相手の大切なことを受け入れるようにしています。



9

活動をきっかけに各国の文化を知り、様々な人がいるという事に対して自然と理解が出来ました。多様性を大切に、今は教育現場で仕事をしています。



10

大勢の前に立つ自信がない私でしたが、多文化講師として活動した経験が自信に繋がりが、可能性を広げることができ、現在は日本語教師の仕事をしております。



11

国際交流に参加して、すごくよかったです。母国のことを多くの方々に紹介することができて、嬉しかったです。また、他の国のこともよくわかるようになりました。



12

幅広い年齢層や外国の方々、文化に触れる事で他人を思いやる事の大切さに気づかされた。薬剤師として患者さんの立場で考える事に繋がっている。



13

他国の文化に敬意を払い、日本文化・和菓子を心を込めて紹介することで、両国の架け橋になりたいです。



14

10年前ポルトガル語講座受講で得難い先生と仲間に出会い、5年前ポ語サークル結成時に講師へ。仲間との知的交流は私を啓発し生涯学習への意欲を育む。



15

仏語仲間に出会った所です。2008年講座後から始め、今は2度目のフランス修学旅行を夢みながら、F.サガンの『悲しみよこんにちは』を講読しています。

皆さんの「思い」が高崎市国際交流協会の原動力です

今までのご支援に感謝。

そしてこれからも宜しくお願い致します



16

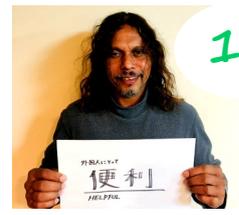
My experience in Takasaki remains in my heart and my mind. To me, International Relations means using culture as the foundation for building and

strengthening relationships, both professional and personal.



17

高崎時代の同僚とボランティアたちの活躍に元気づけられます。今回もこのようなプロジェクトに参加させてもらえてうれしいです。



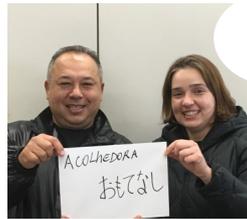
18

生活情報や手続きなど、やさしく教えてくれて便利です。



19

『国際交流の集い』で、近所の様々な外国人コミュニティと共に協力したり、触れ合ったりすることで、地域の一員としての一体感を覚えました。



20

国際交流協会は16年前に高崎に住み始めた私たちを温かく迎え、助けてくれました。協会をとおしてできた最初の友だちとの友情は今も続いています。唯一覚えているのも協会の電話番号です。



21

私たち外国人相談員にとって、協会は様々な経験をとおして常に学びながら成長する機会を与えてくれる出会いとつながりの場です。困ったことがあれば一人で悩まず気軽に相談に来てください。



22

ラジオ番組にご出演頂いたみなさんが、いつも素敵な笑顔だったのでこの言葉を選びました。お話を伺っていて私も自然と笑顔になりました。



23

『国際交流の集い』に参加した事により、高崎市にこれだけ多くの国の人々がいることに驚きました。司会を進行するにあたり、言語力を高める必要を感じ、そして少しだけお役に立てればと思っております。



24

つながることで世界が広がります。日本語支援が、学習者と地域社会を結び、豊かな多様性を持つ子ども達を笑顔の未来へと導く手助けとなる様願います。



25

10年前、高崎国際交流協会の日本語教室で日本語や読み書きなどを学びました。そのおかげで、今では、外資系の大手化粧品会社に勤めております。



26

多文化の人たちとの触れ合いこそ国際理解の第一歩。日本語の練習と運用をどう導くか、日々その工夫するのは楽しいことですね。心からのエールを!



27

日本文化を体験し、身近に感じて楽しんでもらうお手伝いをする中で、たくさんの方々から、多分野にわたる知識を学ぶことができました。



28

国際交流のおかげで、外国人にとって色々な事を助けて頂いて、生活しやすく、安心して過ごしています。本当に感謝いたします。ありがとうございます。



29

高崎市国際交流協会の日本語教室で学んだ事は、非常に実用的であることを実感できました。うまく活用し、今後の人生に生かそうと思えます。



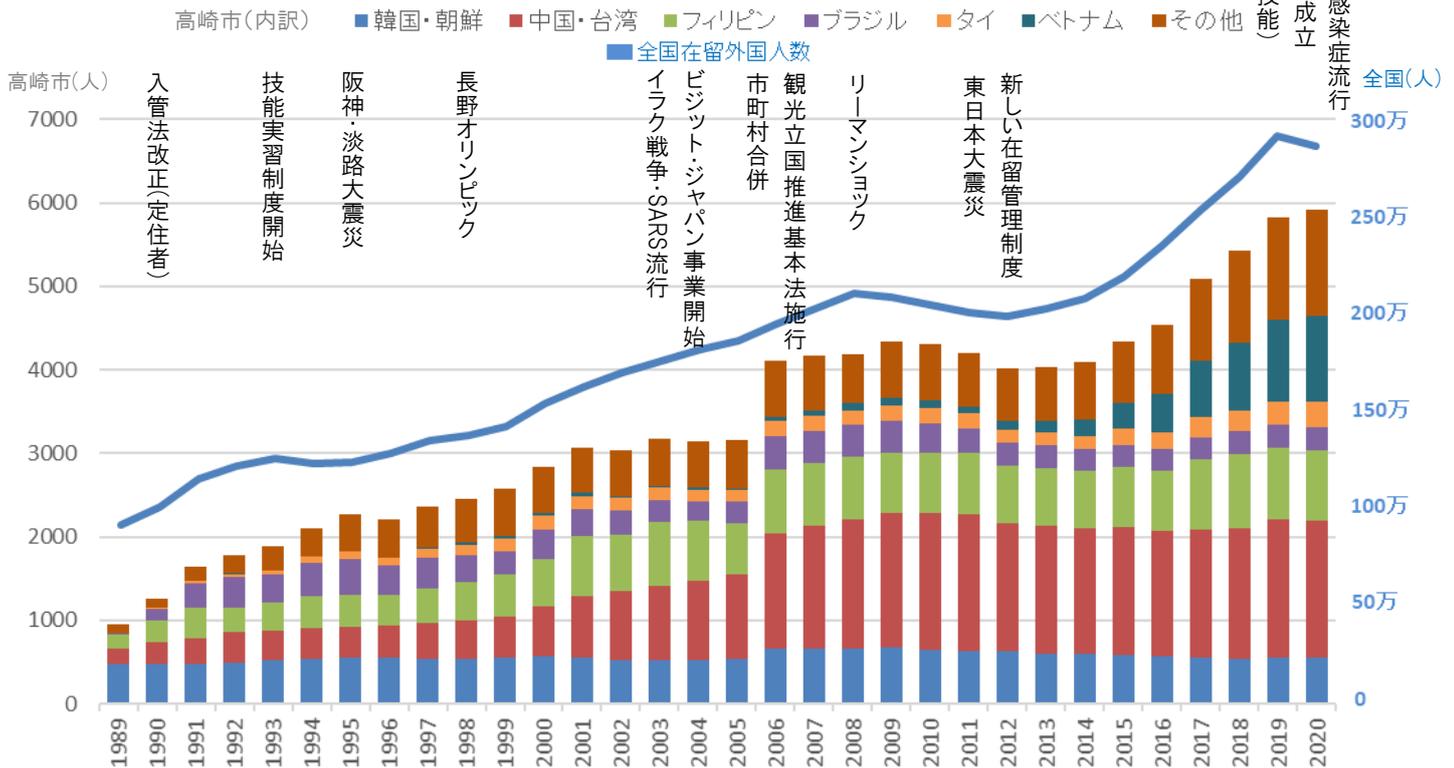
30

高崎に来て20年、この仕事をして13年。人生の半分は国際交流。これからはどんな出会いがあるかな。

すうじ ちいき こくさいか 数字でみる地域の国際化

～在留外国人数と出来事～

新型コロナウイルス感染症流行
日本語教育基本法成立
入管法改正(特定技能)



ラジオ たかさき 高崎

たかさき 「マイタウン高崎」

ほうそうにちじ
【放送日時】

だい きんようび ごぜん
第1・3金曜日 午前9時15分～9時25分

さいほうそう ごご
再放送 午後12時30分～12時40分

ほうそうよてい
【放送予定】

たげん ごじょうほうはっしん
3月5日 多言語情報発信

こうほうせんでんぶかい
3月19日 広報宣伝部会

ごかくこうぎ
4月2日 オンライン語学講座

はる にほんごきょうしつ
4月16日 春のオンライン日本語教室

ほうそうにちじ ないようか
※放送日時や内容が変わることがあります。



がいこくじん 外国人

せいにかつそうだん
生活相談

がいこくご せいにかつそうだん 外国語で生活相談ができます

たいおうげんご そうだんび
【対応言語と相談日】

えいご げつようび きんようび ごぜん ごご
英語 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

ご ちゅうごくご げつようび もくようび ごご
ポルトガル語と中国語 月曜日と木曜日 午後1時～5時

ご きんようび ごご
ベトナム語 金曜日 午後1時～5時

ばしょ
【場所】

たかさき し やくしよ かい こくさいこうりゅう
高崎市役所2階 国際交流コーナー

でんわ そうだん
電話でも相談をすることができます



にゆう かい あん ない 入会案内

にゆうかい
いつでも、だれでも入会できます

かいいんきかん まいねん よくねん
会員期間 毎年4月～翌年3月

ねんかにかいひ こじん えん だんたい ほうじん えん
年間会費 個人2,000円 団体・法人10,000円

い こう しん き にゆうかい ほんがく
※10月以降の新規入会は半額

ともだち

はつこう たかさき し こくさいこうりゅうきょうかい
発行 高崎市国際交流協会

たかさき し たかまつちよう
〒370-8501 高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

はつこうび れいわ ねん ねん
発行日 令和3年(2021年)2月